



高齢者福祉とデジタル時代の挑戦 ：タイの社会問題から見る持続可能な未来

シムプラング・ナッタデット
CHOOMPLANG NATTADECH

●タイ国立タマサート大学 (Puey Ungphakorn School of Development Studies) 助教授

近年、持続可能な開発目標 (SDGs) が世界的に注目される中、高齢者福祉はその重要な課題の1つとして位置づけられている。特に、急速な高齢化が進むアジア地域では、高齢者が直面する課題に対する政策や支援の必要性が高まっているのである。本稿では、私が日頃の研究活動を通じて取り組んでいる「高齢者福祉におけるボランティアの役割」と「オンライン消費における高齢者の権利保護」について紹介し、さらにタイにおける最近の社会問題について考察する。

高齢者福祉とボランティアの役割

高齢者福祉は、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」や目標10「人や国の不平等をなくす」と密接に関連している。高齢者が健康で自立した生活を送るためには、医療や介護サービスだけでなく、地域社会の支援が不可欠である。その中で、ボランティア活動は重要な役割を果たしている。

ボランティアは、地域社会における高齢者の孤立を防ぎ、社会的つながりを提供する役割を担っている。例えば、日本では「見守り活動」や「配食サービス」など、地域住民が主体となって高齢者を支える取り組みが広がっている。一方、タイでは、仏教文化に基づく「タンブン (功德を積む)」の精神がボランティア活動に反映され、地域社会での高齢者支援が行われている。

しかし、ボランティア活動には課題も存在する。

例えば、活動を担う人材の不足や、活動の持続可能性があげられる。これらの課題を解決するためには、行政や企業、地域住民が連携し、ボランティア活動を支援する仕組みを構築することが求められる。

オンライン消費における高齢者の権利保護

私の最近の研究テーマの1つに、「高齢者のオンライン消費における権利保護」がある。タイでは、インターネットやスマートフォンの普及に伴い、高齢者がオンラインで商品やサービスを購入する機会が増えている。しかし、これに伴い、高齢者が詐欺や不正取引の被害に遭うケースも増加している。

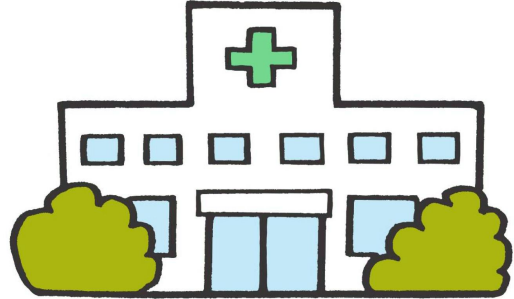
タイ政府は、高齢者の権利を保護するための政策や措置を講じているが、まだ十分とはいえない。高齢者がオンライン取引において直面する主な課題として、以下の点があげられる。

1. 情報格差

高齢者の中には、インターネットやデジタル技術に不慣れな人が多く、詐欺や不正取引に対するリスクが高い。特に、偽のウェブサイトや詐欺メールに騙されるケースが増えている。

2. 法的保護の不十分さ

オンライン取引における高齢者の権利を保護するための法律や規制が十分に整備されていないため、被害を受けた際の救済が難しい状況にある。



3. 教育と啓発の不足

高齢者が安全にオンライン取引を行うためには、デジタルリテラシーの向上が必要である。しかし、教育や啓発活動が十分に行われていないため、高齢者がリスクを認識しにくい状況にある。

私の研究では、これらの課題を解決するための政策提言を行っている。具体的には、高齢者向けのデジタル教育プログラムの導入や、オンライン取引における詐欺防止のための法整備の強化が必要であると考えている。また、地域社会やボランティアが高齢者をサポートする仕組みを構築することも重要となっている。

タイにおける最近の社会問題

タイでは、急速な経済発展とともに、さまざまな社会問題が浮き彫りになっている。その中でも、以下の3つの問題が特に注目されている。

1. 高齢化社会の進展

タイは、アジアの中でも急速に高齢化が進んでいる国の一つである。高齢者人口の増加に伴い、医療や介護サービスの需要が高まっているが、これに対応するためのインフラや人材が不足している。また、都市部と農村部での格差が大きく、地方の高齢者が十分な支援を受けられない状況が課題となっている。

2. デジタル格差

タイでは、都市部を中心にインターネットやスマートフォンが普及が進んでいるが、農村部では

依然としてデジタル格差が存在する。この格差は、高齢者や低所得層に特に顕著であり、オンラインサービスを利用する際の障壁となっている。

3. 環境問題

タイでは、プラスチックごみの増加や大気汚染などの環境問題が深刻化している。特に、バンコクなどの都市部では、PM2.5による健康被害が問題視されている。これらの環境問題は、高齢者や子どもなどの弱者に特に大きな影響を与えている。

これらの社会問題に対処するためには、政府だけでなく、企業や市民社会が協力して取り組む必要がある。特に、SDGsの目標達成に向けた取り組みを強化し、持続可能な社会の実現を目指すことが重要である。

本稿では、私の研究内容である高齢者福祉やオンライン消費における権利保護について紹介するとともに、タイにおける最近の社会問題について考察した。高齢者が安心して生活できる社会を実現するためには、政策や制度の整備だけでなく、地域社会やボランティアの役割が重要である。また、タイにおける高齢化やデジタル格差、環境問題といった課題に対しても、SDGsの視点から包括的な解決策を模索する必要がある。

私の研究が、これらの課題解決に向けた一助となることを願い、今後も引き続き研究活動に取り組んでいきたいと考えている。